

高台への移転も進み、新たな仙石線の楽しみ方が模索され、廃線跡の利活用も議論されています。この度、野蒜築港・東名運河・野蒜海水浴場など奥松島の楽しみ方を地元の方々と意見交換をする中で、

「野蒜塾」を立ち上げ、仙石線（仙台～陸前小野）開通90周年を皮切りに、奥松島の利活用を話し合います。

仙石線の歴史・写真・思い出の展示、みちのく鉄道応援団の1/80模型展示などを企画しました。

仙山線の魚臭い車両も塩竈などからの香りでした。

仙石線と仙山線は生活の物流ルートとして繋がっていました。

是非、ご参加ください。

◆日時：2018年4月14日(土) 10:00～16:00

4月15日(日) 10:00～15:00

◆場所：東松島市 野蒜市民センター

◆展示：◎鉄道車両模型（ジオラマ・電車(1/80)も走ります）

◎仙石線の車両他写真パネル

◎鉄道記念切符、鉄道標識、etc

※詳細は別添チラシを参照ください、

貞山・北上・東名運河研究会

東北土木遺産研究所

野蒜塾

後藤 光亀（こうき）

〒981-0905 仙台市青葉区小松島2丁目16-27

フラワーハイツ小松島301

電話・FAX：022-725-4525（自宅）

携帯：090-4476-0810

Eメール：kokigotoh@gmail.com

◇4/21(土) 仙台郷土研究会主催の公開講座

「仙台藩製塩の概要」

《みやぎ街道交流会経由でのお知らせ》

いつもお世話さます。

来る4月21日（土）午後1時開場 15時終了 入場無料 先着50名 入場無料 資料代若干

仙台郷土研究会主催の公開講座が、仙台市戦災復興記念会館で、開催されます。

講師 京野英一（仙台郷土研究会理事）

演題 「仙台藩製塩の概要」

これまで、定説であった「仙台藩の製塩は長州藩伊藤氏が開田したのが始まり」と伝わっています。

しかし、調査の結果、慶長年間の長州藩には「赤穂の入浜式塩田は存在していない事」など、今回新たにわかりました。（平成29年6月「仙台郷土研究」通巻294号1,500円掲載発表済み）

さらに、仙台藩の「仙台味噌元祖」・真壁屋市兵衛の店は国分町芭蕉の辻界限にあり、松尾芭蕉が滞在した屋敷の可能性が有力であることも解りました。

出来る限り多くの方々に聴講して頂きますようご案内申し上げます。

当日の配布資料に限界がありますので、お知らせ方々、一部を添付しました。

ご高覧ください。

おくの細道松島海道 代表 京野 英一
仙台郷土研究会理事 みやぎ街道交流会副会長

〒981-0215 宮城県宮城郡松島町高城字町133
TEL 022-354-2524 携帯090-8923-1271
e-mail malkyo@wave.plala.or.jp
<http://www.bashoclub.com/>

□□□

□□ 以上、よろしくお願いいたします。

□

☆

<メルマガ事務局（広報・編集部会）からのお知らせとお願い>

- ・本メールマガジンへのご意見、情報提供等や
- ・本メールの配信先の追加・変更、配信停止を希望の方は
お手数ですが、メルマガ事務局（TEL090-7939-1855 横山）、又は広瀬市民センター
（TEL022-392-8405）

までご連絡をいただきますようお願いいたします。

☆

【関連情報等】

◇関山街道フォーラム協議会HP：<http://sekiyamaforum.web.fc2.com/>

◇愛子宿めぐりHP：<http://www.ayasi.info/>

◇みやぎ・やまがた連携ネットワーク Facebook：<https://www.facebook.com/miyayama.net>

添付ファイル 2 件

 チラシ 仙石線90周年 野蒜塾 2018 0414.pdf
84K

 仙台藩の製塩概要資料.pdf
424K